

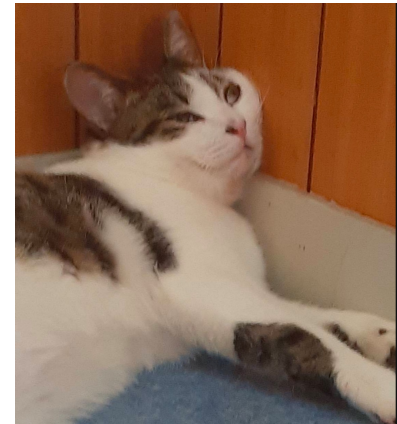
社会人視点での

社工の博士生活と入試対策

社会学学位プログラム
博士後期課程

白鳥 友風

自己紹介：白鳥 友風 シラトリ トモカゼ



飼い猫の「ウニ」

経歴



研究分野

統計・機械学習モデルの推定における正則化の研究

🖋 過適合の軽減、ノイズ除去、クラスタリングなど、色々使えて便利です


私が所属する場所はこんなところ

社会工学学位プログラム(博士)

<https://www.sk.tsukuba.ac.jp/PPS/>



社会工学学位プログラムでは、「社会現象の演繹的理解（社会システムサイクル）」と「データ解析による帰納的理解（データ解析サイクル）」を基礎とするバイサイクル型教育指標として、5つの教育指標を設けています。

- サービス工学、経済、金融工学、統計、心理、都市計画など様々な分野
 - ユニークな授業
(高校、市役所、企業と連携)
 - 標準3年、働きながら3年~、早期修了プログラム（1年）と多様な研究生活
 - **社会人の博士号取得に積極的**
-  2020年度卒業生の総代は社会人博士!

私が博士号取得を目指す理由

博士を取る理由パート1

なぜ博士号？

- 今後の研究活動を充実させたい
- 産業と大学を繋ぎ、技術や教育の幅を広げられる人材になりたい
- (周りに博士かつ優秀な方が多いので憧れる)

なぜ「社会人博士」？

- 家計に関する経済的な合理性
- 実務をやっていると

「これ、利益とか納期を気にせずじっくり突き詰めたいなあ」
が生じる



博士を取る理由パート2

なぜ社工の博士？

「データドリブンで社会問題を解決」

こんな耳触りの良いことが、本当に行われる場所

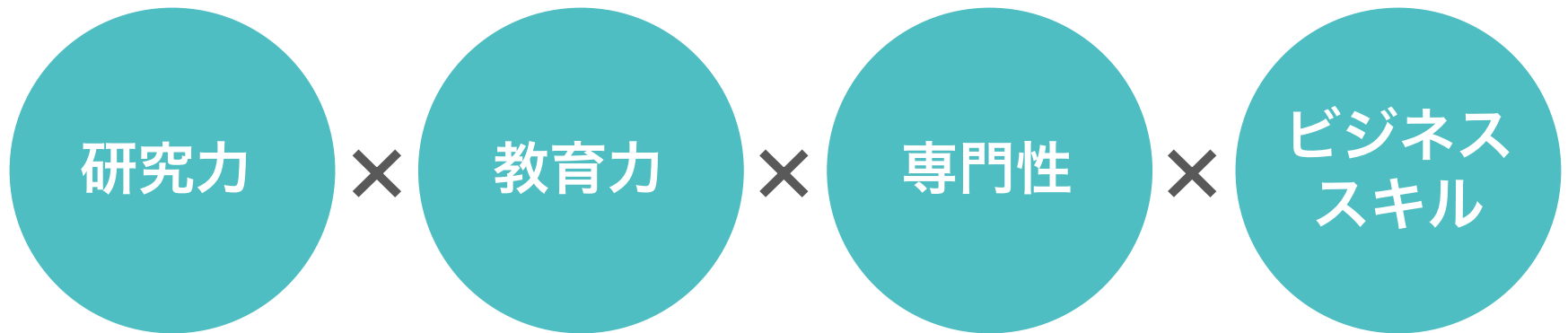
おまけ：筑波大学に惹かれる理由

- 筑波大学は景観がとても綺麗
- つくばは飲食店のレベルが高い (by 数多の卒業生)



学内の循環道路の紅葉、石の広場、中央図書館など、本当に綺麗です。

要するに、こんな人になりたい。



産官学連携が盛んであり、社会人博士も多く輩出している
社会工学学位プログラムは、こんな自分と非常に相性の良い環境

博士に関する (知人の博士への) アンケート

Q. 博士を取ろうと思った決め手は？

- 給料をもらいながら博士とれることが決まった
- 専門性を持つことで主体的にキャリアを構築したい
- 修士までは「学習」、博士から「研究」

Q. 博士を取ってよかったことは？

- 自分の興味のある分野で専門性を持って働ける
- テーマについて悪戦苦闘しながらも考え抜いたプロセスが糧になっていると感じる
- 称号が評価されるのを感じる (その分発言には気を使う)

社会人博士の生活

日程は人によってかなりばらつきます

時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00 18:00	業務				研究 授業	研究 授業 休暇	
18:00 	研究 授業 休暇						

- 会社の多大なる支援により金曜は業務認定で学業に
- 一見鬼のスケジュールですが、非常に充実しています
- 集中講義や融通のきく授業をとってなるべく単位を取得します



自分の肉体的、精神的な健康の管理が下手だと厳しいかも。。。

入試対策

試験内容：口述試験

…志望動機、研究計画をまとめた資料を使って15分程度発表&質疑

ですが、応募時点で以下が必要

- 予定指導教員（研究室）との合意
- 研究計画（2,000時程度）
- 修士論文又はそれに準ずる論文の概要（4,000字程度）
- 主要な公表論文、著書

→ 指導教員との事前相談がほぼ合否を決める



HP を見て興味がある研究室があればとにかく連絡
やりたいことがマッチしているかを確認

ありがとうございました。
